

いろいろ火の里 

みかわ

ざわい



ニニから始まるキミの物語

防災備蓄を強化

小学校給食費無償化へ

松くい虫被害対策は

読める絵 “おのれしょ”

3月定例会・臨時会

令和8年度予算審査

一般質問

シリーズ⑦「がんばってます」
三川町己書サークル

P 2～3

P 4～5

P 6～15

P 16

No.173

3月議会

2026.

4.15

エアベッドを585台

3月 定例会

第2回議会定例会は3月10日から19日までの会期で開会されました。諸般報告1件の後、町長より「施政方針」、教育委員会、農業委員会から「行政方針」が示され、令和7年度補正予算8件、令和8年度予算5件、条例改正5件、事件案件2件、人事案件1件、議員発議2件、議長発議1件を可決しました。

また、9人の議員が町政全般について質問しました。

補正予算

一般会計

1億7760万4千円を追加し、62億858万9千円としました。

主な内容と質疑

●防災費

地域防災事業に284万2千円増額。

問 購入備品の詳細と計上理由は。



指定避難所に整備されるエアベッド

危機管理室長 町の指定避難所にパーテーションやエアベッド、スポーツクーラーなどを整備するため国からの有利な財源を活用するものです。

問 防災資材等の公表時期は。

危機管理室長 来年度、東郷地区で行う防災訓練までには公表できるように準備します。

●企画費

協働のまちづくり推進事業に87万円増額。

問 増額要因は。

企画調整課長 自治振興委員会議で要望された、松くい虫被害に対応する必要があったためです。

問 個人所有の松への補助は。

企画調整課長 補助対象は町内会で保有管理している松に限ります。現時点では、個人所有の松への補助は想定していません。



松くい虫による松枯れ

臨時会

第1回議会臨時会が1月15日に開催され、令和7年度補正予算1件を可決しました。

一般会計補正予算

(主な内容と質疑)

●物価高騰家計応援クーポン券発行事業に1億4422万8千円を計上

問 クーポン配布時期を当初より早めた理由は。

産業振興課長 12月の議会に対する説明では全額令和8年度に繰り越すと

していましたが、商工会と協議して令和7年度内でのクーポン券配布の目的が立ったためです。

問 国からの交付金をクーポン以外の事業者支援にも使う自治体もあるが。

産業振興課長 国では賃上げの支援も対象としていましたが、継続して賃上げ分を支払う原資がないため取り組めないという事業者からの声もあり、実施しませんでした。



他、おもな補正予算の内容

- 低所得世帯の冬の生活応援135万円
- 高齢者施設等物価高騰対策532万円
- 障害者施設等物価高騰対策180万円
- 道路維持費220万円

修正動議(鈴木淳士議員)

速やかな執行と事務コスト削減のため、クーポン券発行事業ではなく、現金給付で対応すべきである。口座振込は過去にも実績があり経費は安価に抑えられる。

修正動議に賛成

鈴木淳士、土田市子、砂田茂

原案に賛成

志田徳久、小林茂吉、小野寺正樹、佐久間千佳、佐竹優子、鈴木重行

(2)3ページまとめ 砂田 茂・佐竹 優子

防災備蓄を強化



放課後等デイサービス「ハーモニー」

●障害者福祉費

障害者自立支援等事業に1898万9千円増額。

問 増額要因は。

健康福祉課長 障害児等が多くなっていて、放課後等デイサービスなどの福祉サービスを利用する人が増えているのがひとつの要因と考えます。

●保育費

公共施設等長寿化対策事業に7570万円増額。

問 令和8年度予算にも

同額が計上されているが、**子育て支援室長** みかわ幼稚園の屋根改修工事を予定しているもので、令和8年度予算に計上していましたが、有利な交付金が予算編成後に決定したので、補正予算に計上しました。

条例改正

(主なもの)

◎三川町農業集落排水処理施設・小規模集合排水処理施設条例等の一部を改正する条例の制定について

提案理由

三川町の水道事業を運営している鶴岡市が庄内広域水道企業団へ移行することから、下水道使用料の算定根拠を同企業団の給水条例に改正するもの。

◎三川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

税制改正に伴い令和7年度住民税非課税の者について令和8年度においても特別の事情に該当するものとし、介護保険料の減免判定に対応するため。

◎三川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、各種医療保険の保険料に新たに子ども・子育て支援納付金分が加算されたため。

反対討論

砂田茂議員

「子ども・子育て支援金」という新たな負担が医療保険に組み込まれていますが、子育て支援は社会保障の対象ではなく、医療保険料を少子化対策

事件案件

◎和解及び損害賠償の額の決定について

提案理由

令和7年1月10日に発生した除雪作業中の事故について和解し、損害賠償額を決定したため。損害賠償額 90万8600円

問 再発防止策は。

建設環境課長 事前に除雪委託業者と危険箇所の確認を行うとともに、運行管理システムの有効活用をさらに徹底していきます。

人事案件

教育委員会委員

佐藤 桂子 (横山上)



小野寺正樹 委員長

中学校は負担軽減

無償化へ

3月16日・17日の2日間、令和8年度予算審査特別委員会を開会しました。

委員会は議長を除く9人の議員で構成し、委員長に小野寺正樹委員、副委員長に砂田茂委員を選出し審査を行い、令和8年度予算を原案のとおり可決すべきものとなりました。

町内会の公民館へのエアコン設置に補助

問 希望調査も行われましたが、今年度だけで対応できるか。

企画調整課 アンケートには6〜7件の申し込みがありました。宝くじ助成との関わりをみながら、令和8年度から令和12年度まで5年間の継続事業とします。

補助率を2分の1、上限50万円とし1町内会1回の補助と考えています。



けた研究を行うほか、地域に必要とされている人材育成に取り組むこととされています。

山形大学との連携

問 山形大学農学部地域産学連携協議会負担金を毎年同額計上しています。が事業内容は。

産業振興課 地域農業の活性化促進プロジェクトや食と農のビジネス塾で営農、技術の指導等を行っています。

民生費

移動困難者にタクシー利用支援

問 新規に創設された、移動困難者通院等タクシー利用扶助費と社会福祉協議会で実施されている、通院送迎サービスとの内容、利用規定の違いは。

健康福祉課 移動困難者通院等タクシー利用の対

象者は、高齢者世帯で車を持っていない方で非課税世帯の方です。最大月往復2回まで、タクシー料金片道上限千円の支援を考えております。通院送迎サービスは、高齢者及び障害者世帯で車を持たない方、さらに社会福祉協議会会費と賛助会費を納めた方が月一回、通院のみに利用できるものです。どちらにも該当する方が重ねての利用が無いよう調整し、どちらか選択して頂くと考えております。

空き家対策

問 現在の空き家解体費用は数百万円を要する状況にあることから、老朽危険空き家解体促進補助金の上限100万円を見直す必要があるのでは。

建設環境課長 国からの2分の1補助制度による



上限を設定しているものですが、現状についても把握しているところであり、課題として認識しています。

衛生費

廃棄物処理業務委託料 (6413万5千円)

問 廃棄物処理業務委託料に関して、前年度対比で100万円以上増加していますが、その要因は

建設環境課 主な要因は委託先の人件費と物価の高騰によるものと捉えています。

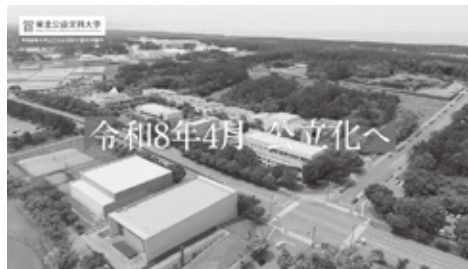
また、本町のゴミの入割合は令和6年度と比

総務費

東北公益文科大学の機能強化について

問 機能強化に向けた、6年間の中期目標の具体的な内容は。

企画調整課 地元へ愛される大学として、公益大を核とした産学官連携プラットフォームを立ち上げ、地域課題の解決に向



一般・特別・事業 5 会計総額 **79** 億 2125 万 6 千円を集中審査

令和 8 年度
予算審査

小学校の給食費

較し 0・1% 上昇しており、今後、人口減少率の差の影響が大きくなると考えます。

浄化槽設置に補助

問 下水道事業を展開しているなか、環境保全費に合併浄化槽設置補助金（150万円）を計上した理由は。

建設環境課 新たな宅地造成区域によっては、公共下水道までの配管敷設に高額な経費を要する場所や、勾配の関係で配管敷設できない区域などが存在していることから、合併浄化槽の設置補助を行うものです。

教育費

学校給食費負担軽減事業（5168万5千円）

問 学校給食費の設定単価と負担軽減について、国県と町からの交付金額等は。

教育課 学校給食の設定単価は一食当たり小学校で350円、中学校で415円です。

小学校は給食費負担軽減交付金として国県から一食当たりに置き換えると、約286円の交付があります。

また、町からは小学校で64円、中学校は町からのみ110円の負担を考えています。



国保特別会計

療養給付費増額

問 一般被保険者療養給付費が770万円増額となったのは、診療報酬改

定の影響か。

町民課 診療報酬や薬価改定だけでなく、一人当たりの医療費水準が増えていることも要因であり、高齢化の影響もあると考えています。

令和8年度より
子ども・子育て支援金徴収

問 国民健康保険事業の子ども・子育て給付金は何の財源となるのか。

町民課 企業も含めた全世代が負担する「子ども・子育て支援金」で、子育

てをする家庭を支援するための費用です。



読者の窓

- 議会広報誌のよく読むページや気になる取り組みはありますか。町政を問う（一般質問）は気になるページです。みんな重要な取り組みですが、「田田」を健康づくりの拠点に）が気になりました。せつかくの温泉施設なので、さらなる活用を考えてみては。
- 議員の質問の意図や議論の内容が伝わる内容の記事になっていましたか。また、分かりづらい記事等はありませんか。議会の傍聴に初めて行きました。多くの方に傍聴して関心を持って頂きたいと思いました。（おもしろかった）議員の方々の日頃のご努力を感じました。
- より読みやすい、手に取りやすい広報誌にするためにはどのような取り組みが良いかアドバイスをお聞かせください。まとまりが良く、わかりやすいと思います。専門用語を極力使わないで、これからもわかりやすい広報誌であってほしいと思います。
- 今後、議会広報誌に取り上げた方が良いと思われる事項があればお聞かせください。
 - ・防災、減災、地域独自の災害リスクと具体的な防災計画。
 - ・住民、対話、若者世代や現役世代の意見を反映した特集。
- 議会への要望等あればお聞かせください。酒田市、鶴岡市のまんなかにある三川町。人口もほぼ横ばいで他の市町村にも負けない魅力ある町なので、もっとPRしてほしいと思います。



芝田美恵さん
（押切中町）

予算審査特別委員会

町政を問う 一般質問

3月定例会



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

3月11日と12日に9人の議員が質問した項目のうち、2項目を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (7ページ)

- 松くい虫被害への対策は
- 三川町出身者等との繋がり強化を

小林 茂吉 議員 (8ページ)

- 積極的なオープンデータ化を
- 移住PR動画について

佐竹 優子 議員 (9ページ)

- 横山城址の枯死木伐採に支援を
- 情報社会に対応した学校教育の充実を

砂田 茂 議員 (10ページ)

- こどもの意見も町政に
- 農業と福祉のマッチングを

佐久間 千佳 議員 (11ページ)

- 大胆な人口減少対策を
- 小学校はどうなる？

土田 市子 議員 (12ページ)

- 地域支援事業のこれからは
- 町のイメージアップ壁画

鈴木 重行 議員 (13ページ)

- 地域おこし協力隊の導入を
- 特産品の開発で地域の活性化を

鈴木 淳士 議員 (14ページ)

- 造成産業団地への立地見込みは
- いろり火の里に民間ノウハウを

志田 徳久 議員 (15ページ)

- 少子化による教育への影響は
- 基幹産業である農業への理解を



議会ホームページの
一般質問はこちらから
(音声配信中)

(6) 15ページまとめ
鈴木 淳士

松くい虫被害への対策は

町長 状況に合わせ速やかに対応



おののらまさき
小野寺 正樹 議員

問

具体的な対策は。

接する官地などで被害が認められています。

町長

一部の公園や学校施設、道路敷に隣

状況は。

問

三川町内の公園、街路樹などの被害

町長

庄内地域における松枯れ被害の拡大

を踏まえ、樹木の維持管理を委託している業者や団体からの報告、職員によるパトロール、町民からの情報などをもとに、引き続き注視するともに、被害が確認された場合は、樹木の高さや枝張



被害大木の伐採作業

り、幹の腐朽状況、倒木した場合に周囲へ与える影響などを、造園業者か

三川町出身者等との繋がり強化を

らの助言を得ながら総合的に判断し、速やかに対応する考えです。

問

デジタルを活用した継続的な連携体制構築の考えは。

町長

三川町を想い応援してくださる方々は、本町にとって大切な「関係人口」です。

SNS 技術を活用した連携体制の構築や、町のホームページ等のQRコードを広報誌等に掲載し、町政情報やイベント情報の発信に取り組んでいきます。

問

ふるさと人材バンクの創設を。

町長

「町づくりアドバタイザー」や「観光大使」として地域外からの視点や助言を、町政や地域振興に反映できる有効な取り組みとして考えています。

また、オンラインを活用した意見交換など、負

問

Uターン・イターン促進策は。

町長

本町独自の「MTAターン戦略」として取り組んでいます。

町と多様な形で関わる人を増やしていく総合的な戦略であり、雇用創出

担の少ない形での参画についても検討します。

繋がり強化を

と人材育成、人の流れの創出と定住化促進、若者の希望に込める環境の創出、安全・安心に暮らせる地域づくりを進めていきます。

問

ふるさと応援寄附金のPR強化を。

町長

主要なふるさと納税ポータルサイト等を活用し、返礼品のPRを図るとともに、掲載内容の一層の充実を図り、引き続き町内事業者の協力を得ながら魅力を発信していきます。



町政を問う

三川町ホームページで音声配信中

積極的なオープンデータ化を

町長 公開の有効性を見極める



こばやし しばよし
小林 茂吉 議員

問 誰でも自由にアクセスし、利用できる形で提供するオープンデータは、デジタル化が進む現代社会で非常に重要な役割を果しており、

行政の意思決定に欠かせないツールです。政策決定の透明性を高め、町民が情報に基づいた意見や提案を行いやすくなる積極的な公開を行

うべきでは。公開するにあたっては、いくつかの課題があり、二次利用を前提とするオープンデータの性質上、行政として常に最新かつ正確な情報を担保し続ける責任が生じます。

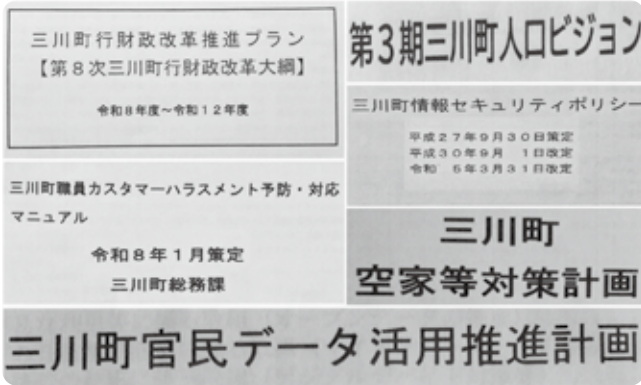
また、個人情報保護や情報セキュリティの万全な対応、膨大なデータの更新管理に伴う事務負担の増大が懸念されることから、現時点において公開は困難であると認識しています。

子育て施設、交通データなど必要に応じて公開可能な情報を整理して検討します。

移住PR動画について

問 みかわ誕生70周年記念プロモーション動画の活用が期待されますが、子育て支援や教育環境の充実した本町への移住・定住に関する情報をパッケージにした動画を作成する考えは、プロモーション動画は、本町の原風景は、

移住に特化したPR動画は、移住イベント等において有効な手段であるため、前向きに検討します。



ホームページへファイル一覧で掲載を

問 令和8年度から始まる第8次行財政改革の取り組みの方向性においても、情報発信を強化し、地域住民との積極的な情報共有を図ることを掲げています。オープンデータの意義・目的は町民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決につながり、行政の透明性・信頼性の向上に役立つデータ集約のファイル一覧を町の



みかわ誕生70周年記念プロモーション動画より

横山城址の枯死木伐採に支援を

教育長 財政的な支援を含め検討する



さたけ ゆうこ 議員
佐竹 優子

問 住民が語り継いできた横山城址を次世代へと伝承していくため、学校教育との連

携や、情報発信をすることを考

教育長 小学校の町探検や校外学習、副読本



近隣住宅へ倒木の危険…

横山城址の枯死木



を通じ、横山城址などの文化財を現地体験と知識の双方から学び、郷土理解と愛着を育成しています。秋まつり展示や生涯学習情報誌で町内外へ発信し、次世代への継承を図っていきます。

問 横山三町内会が環境整備し保全に努めてきましたが、枯死木の倒木の危険性や、その伐採・処分にも多額の費用が見込まれるなど、深刻な課題が生じています。維持管理への財政的支援の考えは。

教育長 地元の献身的な取り組みのおかげで、貴重な歴史的資産が今日まで受け継がれてきたことを、町としても深く認識しています。横山三町内会より詳細をお聞きし、文化財保護の観点から関与できる範囲についても改めて確認した上で総合的に判断し、財政的な支援を含め、対応を検討します。

情報社会に対応した 学校教育の充実を

問 児童生徒の読解力や記述力の現状認識と、すべての学習の基盤となる資質・能力である言語能力向上の取り組みは。

教育長 標準学力検査では、全学年で全国水準以上と捉えています。全国学力・学習状況調査では、自らの考えを組み合わせる力など、活用・応用する力に課題があります。国語を中心に、各教科でも多角的な考察や議論を積極的に取り入れ、

言語能力の育成に努めます。

問 言語能力等を高めるため新聞を活用した教育が広がっていますが、小中学校における新聞活用の現状と推進に対する考えは。

教育長 小学校では朝の時間もあり、中学校においても地元紙を図書室に置き、時事への関心と進路意識の向上につなげていきます。今後も新聞活用を推進します。



読解力や情報活用能力の育成のため
*NIE が広がっている。
*Newspaper in Education：新聞を活用した教育

こどもの意見も町政に

町長 「こども計画」に反映していく



すなだ 砂田 議員

問 「こども基本法」に謳われている子どもの意見表明についての認識は。

町長 子どもが自分の生活や成長に関わる事に、主体的に意見を述べることは権利として保

障されるもので、極めて重要だと認識しています。子どもの意見を反映させる考えは。

町長 令和8年度策定予定の「三川町こども計画」では、子どもたちや保護者等へのアン



議場での意見発表

ケート調査を実施しています。日常生活で感じていることや町への意見を集め計画に反映する考えです。

問 「子ども・子育て支援事業計画」に対する「こども計画」の位置づけは。

町長 「こども基本法」に基づく子ども施策全体の最上位計画で、子どもの権利保障を基本に、教育、福祉、貧困対策など幅広い分野を対象とする総合的な計画です。そのため「こども計画」の中に「子ども・子育て支援事業計画」を盛り込み、子ども施策を一体的に整理し進めていくものです。

問 子どもたちが社会活動に参加する機会の確保は。

町長 子ども会育成会や地域行事、生涯学習の場となる社会教育活動、ボランティア活動など地域の人たちと関わる多様な活動を通じて、子

どもたちが自らの意見を述べ、社会とつながる機会を確保しています。

農業と福祉のマッチングを

問 農福連携についての認識は。

町長 心身に障がいのある人や、ひきこもり等で社会から孤立している人などが農業の現場で働くことにより、雇用の提供や自立支援と社会参加が期待されます。農業者にとっても、担い手不足の改善や営農の継続が期待できる取り組みと認識しています。

問 農福連携の取り組み状況と今後の方向性は。

町長 農業の人手不足解消策のひとつとして、農業者に紹介してきましたが、実施事例はわずかで浸透していないのが現状です。今後は、双方のマッチングにつながる取り組みを模索する考えです。



だだちゃ豆の箱詰め作業

大胆な人口減少対策を

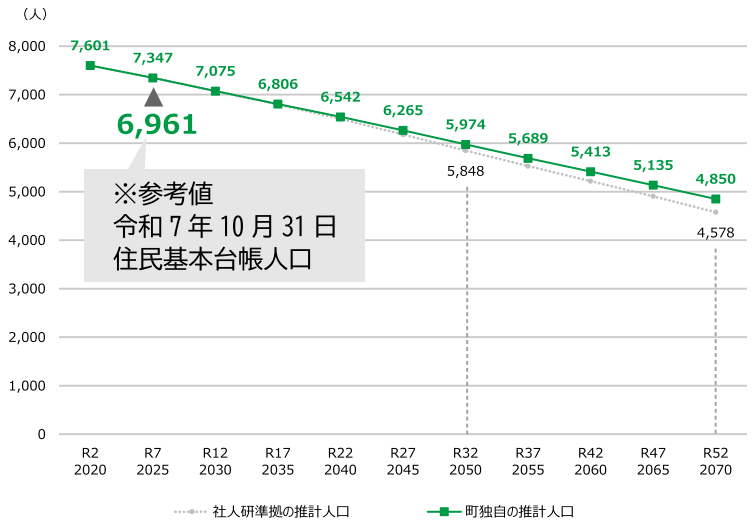
町長 慎重に判断する



さくま ちよし
佐久間 千佳 議員

問 人口減少対策として、若者・新婚・子育て世帯を対象として、空き家を活用した「お試し移住体験」を実施し、一定の条件を満たせば土

将来人口の推計



予測より人口減少が加速している
※第3期三川町 M ターン戦略より抜粋

地と家を無償譲渡するなどの、大胆な移住定住促進策が必要では。

町長 一つの方法として理解できませんが、土地・建物の無償譲渡は初期費用の軽減というメリットがある一方で、財産取得の公平性の観点や、将来的な維持管理責任の所在、短期間での転売懸念などの課題も想定されるため、慎重に制度設計を行う必要があると考えます。

問 即効性のある対策が必要では。

町長 短期的な転入増加につながったとしても、安定した就業や地域住民との関係構築が伴わなければ、長期定住に結びつかない懸念もあります。人口減少対策は持続性と実効性を重視する必要があり、制度設計や財政負担、地域への影響を十分に検証しながら、慎重に判断していきます。

小学校はどうなる？

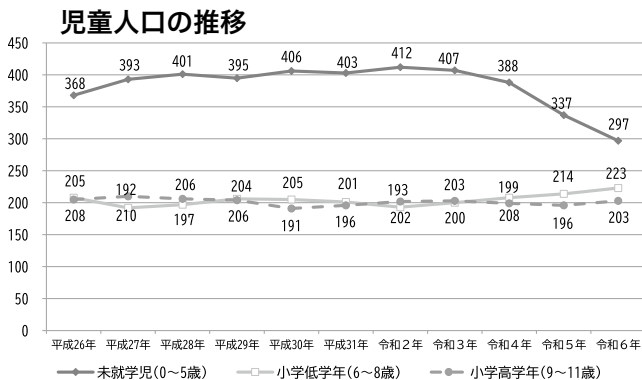
問 児童減少課題に関して、地域の実情や保護者の思い、子どもたちの生活環境を踏まえた将来の学校や質の高い教育のあり方は。

教育長 三つの小学校にはそれぞれの地域に根ざした歴史と伝統があり、可能な限りこの体制を守り続けたいと考えています。

しかしながら、就学年齢人口のさらなる縮小は避けがたい現実であり、今まさに町民の皆様と時間をかけた対話を始めるべき時機にきています。認識しています。

問 具体的な協力の進め方は。

具体的な協力の進め方は。



資料：住民基本台帳（各年3月31日現在）

未就学児の減少が今後の学校運営へ直結する

教育長 令和8年度から、各地区や学校運営協議会の代表者・教育委員・各校長・PTA代表者で構成する「学校のあり方検討委員会」を新設し、三川の子どもたちにとって、最良の学校環境を準備していくために、様々な可能性を視野に入れた丁寧な議論を重ねていきます。

地域支援事業のこれからは

町長 地域の実情に応じた施策を検討



地域全体で支え合う仕組みづくり



つちだ いちこ
土田 市子 議員

問 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査により見えてきた町の課題は。

町長 現在、回答の集計作業を進めており、結果を公表できる段階ではありませんが、ニーズ

調査は重要な基礎資料となるものであり、生活支援体制の強化、認知症対策の推進、介護予防の推進など回答の結果により検討を進めていきたいと考えています。

問 高齢化が進み、近所付き合いも希薄化しています。住民同士による互助や、ボランティアの活用が重要と考えます。

町長 ワークショップを実施した町内会には形になるまでフォローできないが、地域住民が協力し合う地域支え合いの取り組みは、高齢者が住み慣れた地域で生活を送るために、重要な取り組みであると捉えています。

しかし、現在のところ支え合いの仕組み作りまでは至っていません。今後も継続的に啓発活動を行い、地域住民の理解と参加を促しながら、地域全体で支え合う体制作りに努めます。

町のイメージアップ壁画

問 町政70周年記念事業PR壁画作成により期待することは。

町長 三川町がこれまで歩んできた歴史への感謝や、残したい風景、未来への希望を表現することを基本構想として作成しました。

問 壁画は町道助川三本線沿線にあり、周辺には町の主要施設が連なっているメイン道路としてウォーキングコースや住民が集う賑わいの

ある場所ですが、沿線の花壇や樹木の整備管理はどのように行われているのか。

建設環境課長 造園業者に委託し樹木の剪定及び草刈りを行っています。また地元町内会からも草刈りの協力を得ています。

単なる記念制作にとどまらず、引き続き5年間にわたりデザイン画を追加し、町民の皆さんが明るい気持ちになるような場所となり、町の活性化の一助となることを期待しています。



町の活性化に期待

地域おこし協力隊の導入を

町長 「いろいろ火の里」活性化に、採用予定



すずき しげゆき
鈴木 重行 議員

問 県内でも多くの自治体で協力隊が活躍していますが、実績への見解は。

町長 多くの市町村において、移住・定住の促進、農林水産業の担い手確保、観光振興、地

About-地域おこし協力隊とは

地域を変える力になろう。

新しい暮らしの中で、自然や人とつながり新たな自覚を、協力隊のネットワークが、あなたの一歩を支えます。



協力隊を募集するポータルサイト
(公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構)

域資源を活かした商品開発、情報発信力の強化など、様々な分野で一定の成果を上げていると認識しています。

問 協力隊を導入することによる効果についての見解は。

町長 任期終了後にそのまま定住し、起業や就農に繋がっている事例もあり、人口減少対策の観点からも意義の大きい制度と考えます。

また、外部人材がもつ新たな視点や専門性が、地域内にこれまでなかった発想やネットワークを生み出している点も重要と考えます。

問 本町でも制度を積極的に活用し、協力隊を採用しては。

町長 令和8年度にいろいろ火の里の活性化をテーマに地域おこし協力隊の活用を予定しています。

多様な活躍の場の創出については、財政負担や庁内体制、地域との調和

等を十分に踏まえ効果検証を行いつながりながら制度の活用については、

用について前向きに検討します。

特産品の開発で地域の活性化を

問 これまで取り組んできた特産品の開発成果は。

町長 本町ではこれまで「イ号」を活用した日本酒の開発や、米粉を使用した菓子類の開発などに取り組み、特産品づくりを通じた地域活性化を推進してきました。

特に「イ号」については町民の方をはじめ、日本酒愛好家の方々からも好評を頂き、町内外の各

種イベントに提供するなど、町のPRにつながり一定の成果がありました。今後の特産品開発への取り組みは。

問 特産品の開発にあたっては、採算性の確保を重要な要素と考える、事業者が主体的に行う取り組みについて後押しし、地域経済の活性化につなげたいと考えています。

町長 たっては、採算性の確保を重要な要素と考

え、事業者が主体的に行う取り組みについて後押しし、地域経済の活性化につなげたいと考えています。



PR効果のあった町内産米を使った日本酒

三川町産
復刻米「イ号」使用
特列純米酒
2本セット

造成産業団地への立地見込みは

町長 状況によりトップセールスする



令和8年度から分譲開始



鈴木 淳士 議員

町長 必要面積を超えて大規模造成した理由は、計画段階の必要面積把握調査により、一定規模を求める企業が複数確認できたこと。また、造成工事の効率化、コスト削減など戦略性と財政面の両立を図つ

て判断しました。

問 本町への進出を検討していた企業が鶴岡市の「新産業団地」へ変更するとの情報もありますが、具体的誘致対策は。

町長 企業は、立地条件や支援体制などを総合的に判断し、進出を決断するものです。来年度は企業動向把握のための分析調査を行う予定であり、それを基にトップセールスを展開する考えもあります。

問 現在の分譲予定面積はどれくらいか。また、借入金はいくら

町長 現在の分譲予定面積は、全体の3割弱ですが、問合せも複数来ています。また借入は、令和6年度決算で6億700万円です。

いろいろ火の里に

民間ノウハウを

問 管理運営委託している「株みかわ振興公社」からの「施設賃付料」と「施設指定管理料」を相殺してきたものを、それぞれ徴収と支払いを区分して会計処理することになった理由は。

町長 令和5年度会計まで相殺処理してき

ましたが、コロナ禍による利用者の減少と維持管理費の増高などにより、施設の貸付料と指定管理料に差異が生じたことから、それぞれ区分して会計処理することになりました。

問 この施設を専門業者へ移譲して安定的管理運営をめざすべきと提案してきましたが、今後の地域情勢の変化が危惧される中、インバウンドの誘客など多機能的経営手腕が必要と思うが。

町長 近隣の類似施設との競合など課題が多く、専門的経営ノウハウが重要であることは十分認識しています。町のシンボルとしての交流拠点であり、健康増進の役割を担う温泉施設でもあり、中長期的な見通しとともに、民間活力の導入なども慎重に検討していく考えです。



少子化による教育への影響は

教育長 良さと課題の双方がある



しだ たくひさ
志田 徳久 議員

問 少子化による教育への影響をどう捉えているか。また、一学級の少人数化により個々に応じたきめの細かい教育が可能と考えるが。

教育長 学級規模が小さくなることで、教師の目や指導も一人ひとりに行き届き、時間をかけながらその個性に応じた丁寧で確実な指導が可能



個々に応じたきめの細かい教育を

となります。

一方、課題として子ども同士のかかわりの中で葛藤や忍耐、協力することを学ぶ等の機会が必然的に少なくなり、社会性を育む経験が十分に行えなくなる可能性が考えられます。

また、人間関係が固定化してしまうことや学校行事の実施が制限されること、多様な意見が交わされる活発な学習が展開されにくくなること等も課題として挙げられます。

問 以前、子育て町民大会で掲げた「子育ては、家庭で、地域で、町あげて」が広まっていないように感じますが今後の対応は。

教育長 生活様式の変化等での対応は困難になってきていますので家庭との連携、地域の力を借り、スローガンを学校、PTAに伝えながら子どもたちの幸せのために努めます。

基幹産業である農業への理解を

問 基幹産業である農業へ町民、消費者の理解を深めるべきと思うが対策は。

町長 本町は、庄内平野の肥沃な大地と豊かな水資源に恵まれた全国でも有数の穀倉地帯です。

銘柄米を中心とした水稲には高い評価を受けています。

田園風景は、本町の

切な財産であり誇りです。

仮に農業が衰退し、耕作放棄地の増加や農業施設の管理不足が生じれば、害虫の発生や雑草の繁茂、内水氾濫の発生など、生活環境にも悪影響を及ぼすことが懸念されます。

農業が生活に不可欠なものであり、基幹産業であることを理解いただくよう努めます。



始まった春の農作業

がんばってます

三川町己書サークル

温もりある書体 読める絵 “おのれしょ”



名古屋発祥で全国に広がりをを見せている「己書（おのれしょ）」。県内ではこれから盛り上がりつついく、今注目の新感覚の書です。

全3回の町民講座を経て、この度、正式にサークルとして歩み始めました。

現在は、講座を通してその楽しさに目覚めたメンバー6人で、和気あいあいと活動しています。「字が苦手だから…」と不安だった方も、今では筆ペンを持つ時間が楽しみになりました。

己書の醍醐味は、ルールに縛られず、思うまま

に筆を走らせること。書き順も自由で二度書き、三度書きもOK。ちよつとしたコツを掴むだけで、あたたかみのある、世界に1枚だけの作品が完成します。書く人の個性がそのまま「味」になるのが最大の魅力。

自分らしい表現が出来た時の達成感は特別な感動があります。また、集中して無心に筆を動かすことで、リフレッシュ効果が得られますよ。

活動は毎月第3火曜日。互いの作品を褒め合い、笑顔の絶えない温かな空間です。

新たな趣味として、私たちと一緒に「己書」を描いてみませんか？
どなたでもお気軽にご参加ください。

三川町己書サークル
小林 志保



【表紙の写真】
三川中学校新一年生
(写真) 土田 市子

- 発行責任者
 会議議長 町野 昌弘
 編集 広報常任委員会
 委員長 砂田 茂
 副委員長 鈴木 重行
- 委員 鈴木 淳士
 委員 小野寺正樹
 委員 土田 市子
 委員 佐竹 優子

編集室
 「山笑う」季節、芽吹き生命の鼓動が感じられる今日この頃です。土手や畔には、いつの間にか株分けし増えた無数の水仙が一面に咲き誇っています。厳しい雪の下で、さぞかし春を待っていた事でしょう。

町内でも親御さん hands を引かれ新しく入園されるお子様、登校班に集まる黄色い帽子の小学一年生、新しい制服の袖で手が隠れても必死に自転車漕ぐ中学一年生。ここにも躍動の春を感じております。この光景に「ガンバレ」とエールを送りながらパワーをいただき、につこりと目を細める自分がいる。穏やかな毎日が続きますように。

土田 市子